

報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学  
2012年11月7日  
APU リリース 2012-42

## APUで米国国務省高官による特別講義 「米国のアジア関与:21世紀におけるパブリック・ディプロマシー」

11月15日(木)に、米国ワシントンDCの国務省高官であるタラ・D・ソネンシャイン国務次官(広報・文化交流担当)が立命館アジア太平洋大学(以下 APU)を訪問し、学生と教職員を前に「米国のアジア関与:21世紀におけるパブリック・ディプロマシー」と題し、特別講義を行います。これは APU の授業科目「国際関係論入門(ロスマン・スティーブン アジア太平洋学部 助教)」の一環として行われるもので、当日は、講義の様子をインターネットの USTREAM を通じてライブ配信いたします。

米国国務省の高官職には、ヒラリー・クリントン国務長官をトップとして、国務長官を補佐するナンバー2の副長官、その下の第3位の地位に政治、経済、広報・文化交流など分野別に6人の国務次官がおり、各々の職責において米国の外交政策を主導しています。米国政府の世界における広報外交の責任者であるソネンシャイン国務次官は、ジャーナリストとしても輝かしい経歴を持っています。

講義では、学生交流の促進が国際相互理解に果たす役割や現在の世界情勢などについてお話しいただく予定です(ただし言語は英語のみで、日英通訳はありません)。当日の講義の様子は、一般の方にも視聴いただけるよう、USTREAM を通じてライブ配信いたします(URLは下記参照)。

なお、ソネンシャイン国務次官の発言は「オン・ザ・レコード」ですので、当日の講義の様子をご取材いただくことが可能です。また、ご希望があれば、この特別講義終了直後に、同国務次官が短時間の囲み取材にも応じるとのことです(囲み取材には日英通訳が付きます)。

### 米国国務次官 タラ・D・ソネンシャイン氏による特別講義 概要

日 時 : 11月15日(木) 11:00~12:00  
場 所 : 立命館アジア太平洋大学 教室棟Ⅱ(FⅡ棟) 121 教室  
講 師 : 米国国務次官 タラ・D・ソネンシャイン (Tara D. Sonenshine) 氏  
テ ー マ : 「米国のアジア関与:21世紀におけるパブリック・ディプロマシー」  
(原題: Engaging Asia: Public Diplomacy and 21st Century Statecraft)  
言 語 : 英語のみ(※日英通訳はありません)  
参加人数 : 約200名(APU学生、および教職員)

※ 講義のライブ視聴は、下記 URL へアクセスしてください。

USTREAM ライブ中継 <http://www.ustream.tv/channel/ritsumeikan-apu> (11:00~11:40)

セキュリティの関係上、本件の記事掲載・報道は、11月13日(火)以降にお願いいたします。

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室(広報担当): 桜井、安岡  
Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 Fax:0977-78-1113 E-mail:[r-apu@apu.ac.jp](mailto:r-apu@apu.ac.jp)  
住所: 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1

【ソネンシャイン国務次官の来日や九州訪問についての報道機関からのお問い合わせ先】  
在福岡アメリカ領事館広報部(報道担当:宮内 電話:092-761-6661)

- 本リリース(全2枚)は、大分県政記者クラブ・別府市政記者クラブ加盟各社に送信しています。

## 参考資料

### 1. ソネンシャイン国務次官の略歴について

**Tara D. Sonenshine, Ms.**

米国国務省 国務次官(広報・文化交流担当)

Under Secretary for Public Diplomacy and Public Affairs

1981年タフツ大学卒。米国ABCテレビやニュースウィーク誌などのジャーナリストとして、放送、活字および電子メディアにおける豊富な経験を有し、エミー賞をはじめ多数の賞を受賞。クリントン政権時代には大統領特別補佐官兼国家安全保障会議(NSC)広報担当次長などホワイトハウスのさまざまな要職を歴任、広報・政治部門において輝かしい経歴を持つ。多くの国際的な組織およびNGOの戦略的広報担当アドバイザー、米国平和研究所(USIP)の副所長を経て、2012年4月に現職の米国国務次官(広報・文化交流担当)に就任。

※プロフィール詳細(英語): <http://www.state.gov/r/pa/ei/biog/187350.htm>

### 2. ソネンシャイン国務次官の来日について

在福岡米国領事館によると、ソネンシャイン国務次官の来日の背景は、以下のとおりです。

2012年は、日本がワシントンに桜の木を寄贈して100年目にあたります。今後100年間のさらなる日米友好関係を願い、今般、米国から日本に合計3,000本のハナミズキが寄贈されることとなりました。このハナミズキは寄贈を希望する地方都市に贈られますが、その最初の100本の植樹式が、11月16日(金)に東京の代々木公園で行われる予定で、ソネンシャイン国務次官は米国政府代表として、この歴史的な式典に出席するために来日します。東京以外の訪問地は九州のみで、大分県内での訪問先はAPUのみです。

- ※ セキュリティの関係上、本件の記事掲載・報道は、11月13日(火)以降にお願いいたします。
- ※ 取材いただける場合は、必ず事前にAPU担当者(下記)まで報道機関名と取材者名をご連絡ください。
- ※ 講義に通訳はつきませんが、報道機関の方で日本語のサポートが必要な場合は別途お申し出ください。

---

**【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室(広報担当)担当:安岡、桜井**  
Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 Fax:0977-78-1113 E-mail:[r-apu@apu.ac.jp](mailto:r-apu@apu.ac.jp)  
住所:〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1

**【ソネンシャイン国務次官の来日や九州訪問についての報道機関からのお問い合わせ先】**  
在福岡アメリカ領事館広報部(報道担当:宮内 電話:092-761-6661)